

平成19年度事業報告

医療経済不況が叫ばれて久しい中、各職場においてなお厳しい現実が続いています。

しかしかにかに厳しい現実になろうとも正確な検査結果を迅速に報告するという臨床検査の基本は全く変わることはなく、むしろ医療における臨床検査の重要性はますます強くなっています。正確な結果と迅速な報告は臨床検査技師の責務であり、そのためには私どもは常に正確な知識技術の習得に努力することが求められます。このようなことから社団法人京都府臨床検査技師会は臨床検査技師の職能団体として京都府内の臨床検査技師の知識、技術の向上に向けて種々の事業を行ってまいりました。

昨年と同様、事業計画をほぼ執行することができましたことは、理事、研究班長をはじめ会員諸氏のご協力の賜であると感謝しております。特に臨床化学研究班の活動については理事会主導ではありますがその研修会を重ねて軌道にのりつつあり、今までの活動を更に今後につなげていきたいと考えています。その他、近畿臨床検査技師会が行っている JICA の仏語圏西アフリカ臨床検査技術コースには研修生に対する講義、実習で多くの京臨技会員の協力を得ました。昨年より新事務所での活動を開始し、会員の皆様からの各種の問い合わせに対しても迅速な回答が出来る体制になりましたので会員の皆様にとって利便性の高い事務所になったと思っております。今後は事務量の増大に伴い、事務員の増加も考慮する必要があります。また、協賛メーカー減少傾向が見られましたが、事業の推進、事務所維持のためにも来年度も会員数および協賛メーカーの増加対策に取り組む必要があります。

1 啓発および保健衛生事業

(1) 第33回くらしと健康展が9月15日(土)・16日(日)、京都府総合見本市会館(パルスプラザ)にて、『SKYふれあいフェスティバル2007』と併催で行われました。

主催は京都府医師会・京都府糖尿病協会・京都市栄養士会・京都府臨床衛生検査技師会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・京都禁煙推進研究会・京都市・京都府。今年のテーマは、『知って防ごう！メタボリックシンドローム！』でした。

当会は検査コーナーを担当し、例年通りの心電図検査と血糖検査に加え、昨年と同様目の疲労チェックを実施しました。両日で検査コーナーに来られた方は、心電図検査 561 名(女性 368 名、男性 193 名)、血糖検査 1,327 名(女性 890 名、男性 437 名)、目の疲労度チェック 354 名と昨年以上の参加がありました。特に目の疲労度チェックには関心が高く 1 時間半待ちという状況でした。出務者は技師会会員 28 名。また、血糖検査では簡易血糖測定器をジョンソン&ジョンソンに、心電図検査では心電計を日本光電関西に、目の疲労度チェックでは近見反応測定装置、両眼視簡易検査器をWOCに貸与して頂きました。

(2) 京都府医療推進協議会主催イベント

「これからの医療・介護・福祉を守るため～みんなが安心できる社会を目指して～」のテーマのもと、11月10日(土)京都市勧業館「みやこめっせ」3階第3展示場で開催され、KBS ラジオ「桂都丸のサークルタウン」が生放送されました。今年度は当会と臨床工学会と共同でブースを構えました。京臨技では、日臨技ホームページにある「ご存じですか？臨床検査」をポスターにして掲示すると同時に、輸血検査研究班の協力による「ABO 血液型オモテ検査(スライド法)の実演」と「検査相談コーナー」のブースを出展し、臨床検査技師や臨床検査の PR と健康啓発に努めました。当日は理事 3 名がパンフレットの配布および

臨床検査の項目や検査値の説明を担当し、輸血検査研究班 2 名の協力を得て輸血検査の実演を行いました。

(3) 一次救命処置講習会 (AED 操作含む)

2 月 2 日 (土)、京都保健衛生専門学校にて開催しました。講師は日本赤十字社京都支部より小林和博事業推進課主事ほか 2 名をお招きし、学生を含む 63 名の参加者で講習を受けました。講習では心肺蘇生法と自動体外式除細動装置 (AED) を用いた除細動の手順についてを学び、講習終了後には赤十字救急法短期講習受講者(一次救命処置コース①)の受講証が渡されました。

2 研究・研修会事業

(1) 各研究班は日臨技生涯教育に沿った研修会、講演会、実技講習会を合計 67 回開催し、延べ 1705 人 (会員 1443 人、学生 38 人、非会員 224 人) の参加がありました。

(2) 第 42 回京都病院学会が 6 月 10 日 (日) に京都府医師会館、京都市立看護短期大学で開催されました。テーマは「医療安全」、特別講演には東北大学大学院教授上原鳴夫氏を迎えて行われ、京臨技からは実行委員 1 名、実務委員 4 名を派遣し積極的に参加しました。本学会の参加者数 1810 名、演題数 346 題でした。

(3) 第 10 回新入・転入会員研修会を 9 月 14 日 (金) 午後 6 時～9 時、京都教育文化センター 3 F に於いて開催し、京都大学医学部附属病院検査技師長の田中美智男氏新人に向けて、「これからの技師に望むもの」と題して講演していただいた。新入会員、理事・班長・会員、講師合計 42 名の参加でした。

(4) 第 18 回京臨技北部学術発表会を 12 月 15 日 (土) に福知山市のサンプラザ万助にて開催し、51 名の参加がありました。特別講演は、一般公開講演として大村健二 (金沢大学医学部教授) に「ガンについて知ろう」と題した講演をしていただき、府市民への健康啓発に務めました。

(5) 京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同学術講演会を 2 月 16 日 (土) 午後 5 時～午後 7 時、京都府立医科大学図書館ホールにおいて開催されました。3 人の演者に講演をしていただいた。斉藤昇氏：経口抗凝固剤ワルファリン・モニタリングでの PT-INR 測定の現状、広山晶一氏：心不全マーカー NT-ProBNP の基礎的検討、佐藤幸人氏：循環器疾患によるバイオマーカー。

3. 精度管理事業

(1) 第 22 回精度管理調査を 10 月 25 日～11 月 9 日の期間で実施した。京都府下 87 施設の参加がありました。

(2) 京都府・京都市登録衛生検査所精度管理委員会に参加し、府内の衛生検査所の立ち入り検査を実施しました。

4. 広報活動

会誌を 2 回 (2007. vol.34 No.1, No.2) 発行しました。

会報を 6 回発行し (No.19～No.24)、会の事業を広報しました。

ホームページを毎週更新し、事業活動の迅速な広報に努めました。また、携帯用サイトを開設し、さらなる利便性の向上を図りました。

5. 総務事業

平成19年度の会員数は958人（平成20年3月現在）でした。

毎月行事カレンダーを発行し、各種案内とともに個人宛に送付しました。

6. その他の事業

（1）京都私立病院協会の院内感染対策推進事業の支援部員5名（理事1名、微生物研究班推薦4名）を派遣し、病院視察を行いました。

（2）近臨技主催行事であるJICA研修プログラムに協力しました。

期間：平成19年8月6日～11月29日(85日間)

（3）「クリーン作戦」として、理事による事務局周辺の道路、鴨川河川敷公園清掃活動を実施しました。11月8日18:30から実施

（4）平成19年度定期総会後に新事務所披露祝賀会を開催し、会員や賛助会員に新事務所を披露しました。また、研修室利用規約を定め、会員へ新事務所兼研修室の利用を広く呼びかけました。

（5）「仮会員証」制度を発足し、新規会員獲得に向けた新しい取り組みを行いました。

平成19年度事業活動報告

事業部活動

京都府臨床検査技師会平成19年度定期総会

日 時：平成19年5月26日

会 場：京都教育文化センター

出席数：489名（委任状出席456名）

チーム医療活動

第6回糖尿病療養指導士講習会

日 時：平成19年12月1日

会 場：ぱるるプラザ京都

参加者：27名

糖尿病療養指導士講習会

日 時：平成20年1月26日

会 場：舞鶴医療センター内地域医療研修センター

参加者：41名

第42回京都病院学会

日 時：平成19年6月10日

会 場：京都府医師会館

参加者：1810名

一次救命処置講習会（AED操作含む）

日 時：平成20年2月2日

講 師：日本赤十字社京都府支部救護係

会 場：京都保健衛生専門学校

参加者：63名

第9回新入・転入会員研修会

日 時：9月14日

講 師：京都大学医学部附属病院検査技師長 田中美智男氏

テーマ：「これからの医療について」

会 場：京都教育文化センター

参加者：42名

第34回くらしと健康展

日 時：平成19年9月15日・16日

会 場：京都府総合見本市会館（パルスプラザ）

主 催：京都府医師会・京都府糖尿病会・京都府栄養士会京都府臨床検査技師会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・京都禁煙推進研究会・京都府・京都市

テーマ：「知って防ごう！メタボリックシンドローム」「SKYふれあいフェスティバル2007

参加者：血糖検査（1327名）、心電図検査（561名）、目の疲労度チェック（354名）

総 括：検査技師会では検査コーナーを担い、血糖検査、心電図検査と昨年人気の高かった目の疲労度チェックを実施した。両日で出務者は検査技師会会員28名。ジョンソン&ジョンソン、日本光電、WOCの出展企業より14名のサポートを受けた。

血糖値が高値であったり心電図に異常の見られた市民の方へ医療相談コーナーへの案内を行った。目の疲労度チェックでは昨年同様大変な人気となり1時間半待ちという盛況ぶりであった。われわれ臨床検査技師が従事する臨床検査とは少し距離のある検査であるが、無侵襲で、数分で結果が出る点も大きな魅力だと思われた。

精度管理事業報告

1)第23回精度管理事業を10月25日～11月9日の期間で実施した。

今後の日臨技のデータ共有化事業にそなえて、臨床化学では24項目と大幅に項目を増やした。

参加施設は京都府下87施設だった。

2)京都府京都市登録衛生検査所精度管理委員会に参加し府内の衛生検査所の立ち入り検査を実施した。

編集委員会活動報告

《委員会》

平成19年度第1回編集委員会 平成19年7月31日開催

《会誌》

2007. vol.34 No.1（平成19年9月発行）

平成19年度京都府臨床検査技師会定期総会報告

名簿（役員・学術委員会・精度管理委員会・編集委員会・研究班・会員・賛助会員）

報告（JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術研修、第 33 回くらしと健康展）
平成 18 年度会報（No.14 -No.18）バックナンバー

2007. vol.34 No.2（平成 20 年 4 月発行）

第 2 3 回京都府臨床検査技師会精度管理調査にあたって

第 2 3 回京都府臨床検査技師会精度管理調査参加施設

精度管理委員名簿

精度管理調査結果（病理検査、細胞検査、微生物検査、血液検査、血清、輸血検査、一般
検査、生理検査、臨床化学検査）

《会報》

No.19（平成 19 年 5 月 1 日号）

京臨技仮会員（会費無料）の制度発足

合言葉は「サバ（Ca va）」ー仏語圏アフリカ臨床検査技術コースの実習に協力してー
行事予定

研修会報告

理事会議事録（第 9 回、第 10 回）、理事・班長合同会議議事録

No.20（平成 19 年 7 月 1 日号）

平成 19 年度定期総会・新事務所披露祝賀会

会費からみる平成 19 年度の京臨技活動計画

京臨技研修室利用規約

研修会報告

行事予定

理事会議事録（第 11 回、第 12 回）

No.21（平成 19 年 9 月 1 日号）

事業部の行事案内（第 9 回新入・転入研修会第 18 回京臨技北部学術発表会）

輸血検査実技講習会

研修会報告

大阪アメ村で検査ボランティア募集

行事予定

京臨技の後援事業の開催案内

理事会議事録（第 1 回、第 2 回）

No.22（平成 19 年 11 月 1 日号）

第 18 回北部学術発表会

血液凝固講演会・凝固機器展示会

第4回病理・細胞講演会

行事予定

第34回くらしと健康展

第9回新入・転入会員研修会

研修会報告（臨床化学・生理）

理事会議事録（第3回、第4回）

No.23（平成20年1月1日号）

京都府医療推進協議会イベント

京都府医療推進協議会イベント報告

一般検査分野実技講習会

私病協主催パソコン講習会

行事予定

研修会報告

理事会議事録（第5回、第6回）

新年のご挨拶

No.24（平成20年3月1日号）

京臨技ホームページ携帯版

一次救命処置講習（AED使用方法含む）

研修会報告

行事予定

理事会議事録（第7回、第8回）

[日臨技発]厚生労働省通知について

京都府医療推進協議会

日 時：平成19年11月10日10:00～16:00

会 場：京都市勧業館「みやこめっせ」

主 題：これからの医療・介護・福祉を守るために ～みんなが安できる社会を目指して

総 括：輸血検査研究班による ABO 血液型オモテ検査(スライド法)の実演と試験管法での反応モデルの展示。臨床検査の項目や検査値の説明およびパンフレット配布を行った。府民と直に接し、臨床検査や医療について対話をする貴重な経験を得た。イベントに対しては検査受診への要望期待が大きく、今後の企画運営の参考にすべきと考えた。

学術部活動報告

A. 生理検査研究班

＜総括＞『今年度は“小さな情報も見逃さない”を主題にして各研修会を企画運営してきました。本年度 京臨技 生理研究班は、平成19年12月 “日臨技 生理機能検査部門 全

国研修会”を企画開催し、130名を超える日臨技会員の方に参加いただきました。講義内容も高い評価をいただき、無事終わることが出来ました。研究班委員は、実質1年をかけて全国研修会を企画実行し、本年度 京臨技 事業活動も平行して企画運営を行っていました。その為、平成19年度 学術計画も日程変更などを行うことがあり、京臨技会員の皆様にご迷惑をおかけすることになりました。来年度はそのような事が無いよう、各研修会を企画する予定です。』

1) 【研修会】心電図研修会

日 時：平成19年5月19日（土） 15:00～16:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：初級編

講 師：増田 信弥（京都民医連中央病院）

参加者：15人（会員：9人）

2) 【研修会】呼吸機能検査研修会

日 時：平成19年7月05日（木） 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：初級編

講 師：鳥飼 浩（(株)日本光電）

参加者：23人（会員：22人）

3) 【研修会】超音波研修会

日 時：平成19年8月08日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：超音波基礎研修会

講 師：大道 和也（東芝メディカル株式会社）

参加者：11人（会員：10人）

4) 【実技講習会】超音波実技講習会

日 時：平成18年09月29日（土） 14:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：心、腹部、頸部血管領域

講 師：鮎川宏之 武田千恵美（医仁会武田総合病院）、山田宣幸（三菱京都病院）

今川 昇（京都工場保健会）、大塩 稔（社会保険京都病院）

参加者：27人（会員：20人）

5) 【研修会】心電図研修会

日 時：平成18年10月11日（水） 18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：心電図研修会 中級編

講 師：大桐 摩美（日本メドトロニック株式会社）、山田宣幸（三菱京都病院）

参加者：33人（会員：30人）

6) 【研修会】精度管理研修会

日 時：平成19年3月11日（木） 18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：生理検査部門精度管理調査報告会

講 師：生理検査研究班運営委員

参加者：11人（会員：11人）

7) 【講演会】末梢血管超音波講習会

日 時：平成19年3月22日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：末梢血管超音波

講 師：中村 茂（京都桂病院）

参加者：32人（会員：30人）

B. 輸血検査研究班

＜総括＞『安全かつ適正な輸血を実施するために輸血検査部門として必要な知識および技術の習得を目的として研修会や実技講習会を行った。』

1) 【実技講習会】輸血検査実技講習会

日 時：平成19年 6月30日土曜日 13:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査実技講習会1

副 題：ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ

講 師：小黒 博之（オリンパス株式会社）他 輸血検査研究班運営委員

参加者：33人（会員：19人）

2) 【実技講習会】輸血検査実技講習会

日 時：平成19年 7月 7日 土曜日 9:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校 第1、第2実習室

主 題：輸血検査実技講習会2

副 題：ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、直接クームス試験、抗体解離同定試験(溶血性輸血副作用発生時の輸血検査)

講 師：小黒 博之（オリンパス株式会社）他 輸血検査研究班運営委員

参加者：31人（会員：23人）

3) 【研修会】輸血検査基礎勉強会

日 時：平成 19 年 9 月 22 日土曜日 14:00～17:00

会 場：京臨技川端丸太町事務所

主 題：輸血検査基礎勉強会 1

副 題：輸血検査 Q&A

講 師：相田幸雄（京都南病院検査室） 他 研究班運営委員

参加者：30 人（会員：27 人）

4) 【研修会】輸血検査基礎勉強会

日 時：平成 19 年 10 月 20 日土曜日 14:00～17:00

会 場：京臨技川端丸太町事務所

主 題：輸血検査基礎勉強会 2

副 題：血小板輸血不応時の対策、血液型オモテウラ不一致症例の検討

講 師：相田幸雄（京都南病院検査室）他 研究班運営委員

参加者：26 人（会員：25 人）

5) 【講演会】輸血検査学術講演会

日 時：平成 19 年 11 月 17 日土曜日 14:00～17:00

会 場：京都アスニー

主 題：輸血検査学術講演会①

副 題：症例検討から学ぶ輸血検査

講 師：小黒 博之（オリンパス株式会社）

参加者：25 人（会員：24 人）

6) 【講演会】京都府臨床検査技師会精度管理調査報告会

日 時：平成 20 年 3 月 8 日（土） 14:00～15:00

会 場：京都アスニー

主 題：京都府臨床検査技師会精度管理調査報告会

講 師：青山 絹子（第二岡本総合病院）

参加者：21 人（会員：18 人）

7) 【講演会】輸血検査学術講演会

日 時：平成 20 年 3 月 8 日（土） 15:00～16:30

会 場：京都アスニー

主 題：輸血検査学術講演会 2

副 題：輸血の精度管理

講 師：古杉 光明（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社）

参加者：21 人（会員：18 人）

C. 血清検査研究班

＜総括＞『血清研究班では、最近の話題を重点的に主体とした勉強会を行った。日ごろのルーチン業務とは違った様々な視点から理解できたことを、今年度の総括とする。たった2回の学集会しか実施できなかったが、血清以外の他分野からの参加も多く、今後より他分野と協調し多くの方に参加していただけるような学習会を企画していきたい。』

1) 【研修会】免疫血清検査研修会

日 時：平成19年11月9日（金） 18：30～20：00

会 場：京都アスニー 第三研修室

主 題：メタボリックシンドロームと免疫

副 題：アディポネクチンを例に取り

講 師：渡辺 裕司 （富士レビオ株式会社）

参加者：12人（会員：9人）

2) 【研修会】免疫血清研修会

日 時：平成20年03月26日（水） 18：30～20：00

会 場：京都アスニー 第5研修室

主 題1：ウイルス感染と血液製剤について

講 師2：沖 学 （京都府赤十字血液センター）

主 題2：HCV遺伝子測定 TaqMan PCRについて

講 師2：小川 泰史 （Roche Diagnostics 株式会社）

参加者：9人（会員：5人）

D. 血液研究班

＜総括＞『今年は、単独の技師会として非常に珍しい、血液凝固の展示会と特別講演会を2題用意して、2日間にわたる大がかりなイベントを行った。最新の大型機種からPOCTレベルのものまで用意して頂いた。講演会についても最新の臨床医からみた凝固検査を聞き大変有意義であり、多数の方の参加もありよかった。また今年度もケーススタディを継続し、班員の皆様からいろんな検査情報の提供、症例呈示を聞き、検査センターならどうするとか、いろいろ施設による考え方の違いもわかった。実技講演会は、今年は企画出来なかったのが残念である。講演会や研修会には、他府県からの参加者も多く非常に充実した活動であった。』

1) 【講演会】血液凝固講演会・凝固機器展示会

日 時：平成19年08月24日金曜日 16：00～20：00 (24h) 展示のみ

日 時：平成19年08月25日土曜日 10：00～17：00 (24h) 展示と講演会

会 場：リサーチパーク4号館

主 題 1 : D I C ・血栓症における凝固線溶マーカーの臨床的意義

講 師 1 : 岡本 好司

主 題 2 : 症例から学ぶD I Cの臨床と血液検査

講 師 2 : 朝倉 英策

協 賛 : 第一化学薬品、シスメックス、三菱化学メデイエンス、
ロシュ・ダイアグノスティックス、和光純薬、日水製薬、エムシーメデイカル

参加者 : 128 人 (会員 : 73 人 (他府県技師会参加者 29 人含む))

2) : 【研修会】血液形態研修会

日 時 : 平成 1 9 年 1 2 月 0 1 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00

会 場 : キャンパスプラザ京都

主 題 1 : Case Study 4

講 師 1 : 宇田 真也

主 題 2 : 私の目指した血液形態学 3 8 年の足跡

講 師 2 : 平井 通雄

参加者 : 39 人 (会 員 : 29 人 (他府県技師会参加者 8 人含む))

3) : 【講演会】血液形態講演会

日 時 : 平成 2 0 年 0 1 月 1 9 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00

会 場 : キャンパスプラザ京都

主 題 1 : Case Study 5

講 師 1 : 村上 典子

主 題 2 : 京都府技師会精度管理報告

講 師 2 : 由木 洋一

主 題 3 : データ共有化事業について (血液)

講 師 3 : 梅村 茂人

主 題 4 : エビデンスからせまる形態診断

講 師 4 : 阿南 建一

合同 : 滋賀県臨床衛生検査技師会血液研究班 協賛 : シスメックス株式会社

参加者 : 73 人 (会員 : 57 人 (他府県技師会参加者 20 人含む))

E. 臨床化学検査研究班

＜総括＞『学術部 (理事) 主導で研修会を開催した。2 カ月毎、6 回の計画であったが、7 回開催した。会員がどのような研修会を求めているかアンケートで分析を行い、分析化学の原理や新しい検査、精度管理などを中心に行ってきた。』

1) 【研修会】臨床化学検査研修会 1

日 時 : 平成 19 年 4 月 24 日 (火) 18 : 30 ~ 20 : 30

会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：腎機能検査の最近の話題 — 低分子蛋白を中心に —
講 師：佐久間 誠（栄研化学株式会社 マーケティング推進室）
参加者：18 人（会員：12 人）

2) 【研修会】臨床化学検査研修会 2

日 時：平成 19 年 6 月 26 日（火） 18：30～20：30
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：生化学における標準化
講 師：細川 幹夫（株式会社セロテイク 企画開発室）
参加者：21 人（会員：16 人）

3) 【研修会】臨床化学検査研修会 3

日 時：平成 19 年 8 月 28 日（火） 18：30～20：30
会 場：京臨技川端丸太町事務所
主 題 1：新規感染症マーカー プロカルシトニン
副 題 1：敗血症(細菌性)の鑑別診断、
講 師 1：中井 剛史（和光純薬株式会社 臨薬営業本部）
主 題 2：免疫学的測定法 過去、現在、未来
副 題 2：次世代測定原理 LOCI 法の検査における有用性
講 師 2：佐藤 憲祐（デイドベーリング株式会社）
参加者：26 人（会員：13 人）

4) 【研修会】臨床化学検査研修会 4

日 時：平成 19 年 10 月 23 日（土） 18：30～20：30
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題 1：HbA1c の標準化について
講 師 1：金田 幸枝（第一化学薬品株式会社）
主 題 2：NT-proBNP 測定の意義
副 題 2：心不全診断における NT-proBNP 測定の意義
講 師 2：片野 信司（ロシュダイアグノスティックス株式会社）
参加者：44 人（会員：29 人）

5) 【研修会】臨床化学検査研修会 5

日 時：平成 19 年 12 月 11 日（火） 18：30～20：30
会 場：京臨技川端丸太町事務所
主 題 1：京臨技としての臨床検査データ共有化事業推進の方針と原状
講 師 1：南部 昭（京都府立医科大学附属病院）
主 題 2：日本における標準化の動向と日臨技データ標準化

副 題 2：特定健診を目前に控えて

講 師 2：高橋 義孝（日水製薬株式会社）

参加者：22 人（会員：16 人）

6) 【研修会】臨床化学検査研修会 6

日 時：平成 20 年 2 月 26 日（火） 18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題 1：採血手順 -JCCLS 標準採血ガイドラインより-
真空採血管器材の取扱いのポイント

講 師 1：石黒 康裕（テルモ株式会社）

主 題 2：採血業務アシストソリューション

講 師 2：兼本 幸治（株式会社テクノメディカ）

参加者：18 人（会員：13 人）

7) 【研修会】臨床化学検査研修会 7

日 時：平成 20 年 3 月 11 日（火） 18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題 1：京臨技臨床化学精度管理報告会

講 師 1：南部 昭（京都府立医科大学附属病院）

主 題 2：臨床検査データの標準化と精度管理

講 師 2：菅谷 達己（シノテスト株式会社）

参加者：13 人（会員：9 人）

F. 病理検査研究班

＜総括＞『今年度は昨年度に引き続き他府県との合同講演会を開催した。内容も充実してきており大変盛況であった。又、京都の病理・細胞診研修会ではおそらく初めてのインシデント・アクシデント事例の分析実習も行った。来年度以降もこれらの講演会、研修会を含め会員の知識、技術の向上ができるようなものを開催していきたい。』

1) 【講演会】病理分野講演会

日 時：平成 19 年 8 月 25 日（土） 13：00～17：30

会 場：大阪医科大学 PA 会館 1 階

主 題 1：呼吸器領域の病理・細胞診の検体処理の実際

副 題 1：より正確な診断を得るために

講師所属：近江八幡市立総合医療センター、兵庫医科大学病院、京都桂病院

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

講 師：北川 勇一技師、中村 純子技師、長谷川 和彦技師、寺本 友昭技師

主 題 2：呼吸器領域の臨床と病理・細胞診

副 題 2：臨床医の立場より（治る肺がんを見つけよう）

講師所属：国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 政策医療研究部

講師：楠 洋子医師

副題3：病理医の立場より（小型肺癌について）

講師所属：兵庫県立がんセンター 検査部 病理

講師：大林 千穂医師

協賛：細胞検査研究班、大阪府臨床検査技師会、兵庫県臨床検査技師会

参加者：63人（京都府会員：4人）

2) 【研修会】病理分野研修会

日時：平成19年11月10日（土） 14:30～17:00

会場：京都府立医科大学 臨床講義棟2階南臨床講義室

主 題1：免疫染色における工夫点

副題：自動染色装置 ベンタナ XT システム ベンチマーク（ベンチマーク XT）

講師所属：ベンタナジャパン株式会社 カスタマーサポートセンター

講師：北村 和則氏

主 題2：免疫染色に関わるポイント

副題：自動免疫染色装置 Bond System について

講師所属：三菱化学メディエンス株式会社 診断検査事業本部

講師：手嶋 豊彦氏

協賛：ベンタナジャパン株式会社、三菱化学メディエンス株式会社

参加者：16人（会員：9人、賛助会員：7人）

3) 【研修会】病理分野精度管理報告会

日時：平成20年2月9日（土） 14:00～15:00

会場：京都大学医学部附属病院 検査部会議室

主 題：平成19年度精度管理報告

講師：川村 敏文（京都府立医科大学病理学教室）

参加者：12人（会員：12人）

4) 【実技講習会】病理分野実技講習会

日時：平成20年2月9日（土） 15:00～18:00

会場：京都大学医学部附属病院 検査部会議室

主 題1：RCA分析について

講師所属：京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長

講師：長尾 能雅医師

主 題2：RCA分析実習

講師所属1：京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長

講師1：長尾 能雅医師

講師所属2：京都大学医学部附属病院 病理部

講 師 2：白波瀬 浩幸技師

講師所属 3：京阪奈病院

講 師：西村 博明技師

講師所属 4：宇治徳洲会病院

講 師 4：江口 光徳技師

参加者：12 人（会員：12 人）

G・細胞検査研究班

＜総括＞『昨年度に引き続き、他県技師会や他団体との合同研修会や実技講習会を開催した。
次年度もさらに、知識・技術向上に向けた企画をしたい。』

1) 【研修会】と【実技講習会】細胞分野研修会、実技講習会

日 時：平成19年6月30日（土） 13：00～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：乳腺細胞診の講義および鏡見実習

講 師：南雲サチ子（大阪府立成人病センター 臨床検査科）

共 催：日本臨床細胞学会京都府支部

参加者：37 人（会員：31 人）

2) 【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成19年7月7日（土） 14：00～17：00

会 場：京都府立医科大学附属病院 病院病理部

主 題：IAC試験対策

副 題：丸善スライドを中心に

講 師：黒川 聡（国立病院機構 京都医療センター）

参加者：10 人（会員：10 人）

3) 【講演会】細胞分野講演会

日 時：平成19年8月25日（土） 13：00～17：30

会 場：大阪医科大学 PA会館1階

主題1：呼吸器領域の病理・細胞診の検体処理の実際

副題1：より正確な診断を得るために

講師所属：近江八幡市立総合医療センター、兵庫医科大学病院、京都桂病院

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

講 師：北川 勇一、中村 純子、長谷川 和彦、寺本 友昭

主 題2：呼吸器領域の臨床と病理・細胞診

副 題2：臨床医の立場より（治る肺がんを見つけよう）

講師所属：国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 政策医療研究部

講 師：楠 洋子

副題3：病理医の立場より（小型肺癌について）

講師所属：兵庫県立がんセンター 検査部 病理

講 師：大林 千穂

共 催：病理検査研究班、大阪府臨床検査技師会、兵庫県臨床検査技師会

参加者：63人（京都府会員：4人）

4）【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成19年10月21日（土） 14：00～17：00

会 場：京都府立医科大学附属病院 臨床講義棟臨床講義室南

主 題：細胞診スライド模擬試験 講 師：黒川 聡（国立病院機構 京都医療センター）

参加者：17人（会員：17人）

5）【研修会】細胞分野精度管理報告会

日 時：平成19年2月9日（土） 13：00～14：00

会 場：京都大学医学部附属病院 検査部会議室

主 題：平成19年度細胞分野精度管理報告

講 師：小山 賢（京都桂病院）

参加者：12人（会員：12人）

6）【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成19年3月8日（土） 13：00～17：00

会 場：京都リサーチパーク 東区1号館4階 中会議室A

主題1：Liquid Based Cytology-SurePath 法の原理とこれからの展望

講 師：二谷悦子（（株）医学生物学研究所 情報科学事業部）

主題2：細胞診症例提示検討会

講 師：安達博成（奈良市総合医療検査センター）

講 師：白波瀬浩幸（京都大学医学部附属病院）

講 師：三谷弘美（奈良県立医科大学附属病院）

講 師：神崎由佳（京都民医連中央病院）

講 師：坂本真一（天理よろず相談所病院）

共催：奈良県臨床衛生検査技師会、日本臨床細胞学会奈良県支部、日本臨床細胞学会京都府支部

参加者：43人（会員29人、京都府会員18人）

H. 一般検査研究班

＜総括＞『今年度は、尿定性の基礎および一般検査領域で扱う形態検査（尿沈渣、髄液、穿刺液）と時間外の一般検査を中心にした実技講習会、尿沈渣自動分析器の機器展示も実施で

きた。また、精度管理事業の方も例年通り尿沈渣の写真サーベイと髄液の写真サーベイを実施し、良好な正解率を得ることができ、着実に尿沈渣検査法 2000 および髄液検査法 2002 の内容が会員に浸透していると思われた。』

1) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年06月13日 水曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 1「尿定性検査の基礎」

講師名：湯橋 紀子 氏（栄研化学株式会社 マーケティング推進室）

全体参加人数：38人（会員：31人）

仮会員参加数：5人

2) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年6月27日 水曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 2「尿沈渣検査：血球・円柱類」

講 師：堀岡 真人 技師（紫野診療所）

参加者：39人（会員：32人）

仮会員参加数：7人

3) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年7月4日 水曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 3「尿沈渣検査：上皮細胞類」

講 師：佐伯 仁志 技師（国立病院機構 京都医療センター）

参加者：31人（会員：26人）

仮会員参加数：5人

4) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年7月18日 水曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 4「尿沈渣検査：異型細胞」

講 師：佐々木 正義 技師（市立吹田市民病院）

参加者：31人（会員：28人）

仮会員参加数：3人

5) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年10月10日 水曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 5 「穿刺液」(髄液、胸水、腹水)

講 師：佐伯 仁志 技師(国立病院機構 京都医療センター)

全体参加人数：23人(会員：23人)

仮会員参加数：0人

6) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成19年11月10日 土曜日 18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 実技講習会

副 題：時間外における一般検査の基礎知識

講 師：佐伯 仁志 技師(国立病院機構 京都医療センター)

副 題：時間外におけるグラム染色の基礎知識

講 師：繁 美希 技師(久御山南病院)

全体参加人数：26人(会員：24人，非会員1人) 仮会員参加数：1人

7) 【研修会】一般検査分野精度管理報告会

日 時：平成20年2月23日 土曜日 13:00～16:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：京都府臨床検査技師会主催精度管理調査報告会

講 師：山路 順子技師(京都大学医学部附属病院)

全体参加人数：16人(会員：16人)

仮会員参加数：0人

8) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成20年2月23日 土曜日 13:00～16:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査研修会

副 題：見て聞いてさわってみよう!!「尿沈渣自動分析装置」

講 師：宮尾 雅美 氏(シスメックス株式会社)

東野 功嗣 氏(アークレイマーケティング株式会社)

舩岡 正二郎 氏(東洋紡績株式会社)

全体参加人数：21人(会員：21人)

仮会員参加数：0人

I. 微生物検査研究班

＜総括＞：現在の医療における感染症検査の重要性を認識し、新しい情報や基本検査技術の修得はもちろんのこと、臨床の診療に具体的に貢献できる微生物検査室の構築を意識した活動を目指し研修会、講演会を開催しある程度の目標を達成できたが、予定した内容、特に基礎実習など実施できなかった項目について、来年度に実施したい。

1) 【研修会】微生物分野研修会

日 時：平成19年7月13日 19:00～20:30

会 場：ハートピア京都

主 題：感染症法の改定について

講 師：田中 美智男 先生（京都大学医学部附属病院）

参加者：14名

2) 【京滋合同講演会】微生物分野講演会

日 時：平成19年7月20日 19:00～20:30

会 場：ばるるプラザ京都

主 題：C. difficile 腸炎の臨床と検査

講 師：国広 誠子 先生（山口県総合医療センター）

参加者：44名

3) 【京滋合同講演会】微生物分野講演会

日 時：平成19年11月2日 19:00～20:30

会 場：メルパルク京都

主 題：薬剤耐性菌感染症 ー抗菌薬療法と免疫補助療法を中心にー

講 師：斧 康雄 先生（帝京大学医学部 微生物学講座）

参加者：29名

4) 【研修会】微生物分野研修会

日 時：平成19年11月16日 19:00～20:30

会 場：ハートピア京都

主 題：（京臨技 研修会）感染症診療の進め方

講 師：松村 康史 先生（京都市立病院 内科・感染症科）

参加者：19名

5) 【講演会】医療統計学講演会 （情報システム研究班 共催）

日 時：平成19年10月～平成20年3月(土) 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：医療統計学講演会 （講演会：主催 情報システム）

講 師：佐藤俊哉 教授ほか（京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻）

6) 【研修会】微生物精度管理報告会

日 時：平成20年2月17日 19:00～20:30

会 場：メルパルク京都

主 題：精度管理報告会 日常よく遭遇する糸状菌の鑑別

講 師：崎浜 秀剛 先生、小森 敏明 先生、丹羽 紀実 先生

参加者：13 名

7) 【実技講習会】微生物分野実技講習会

日 時：平成20年3月22日 14:00～18:00

会 場：京都府立医科大学基礎医学学舎1階 第2実習室

主 題：寄生虫及び原虫感染症と検査 Part. 4

「寄生虫疾患の診断と診断法の進歩」

講 師：山田 稔(京都府立医科大学寄生病態学教室)

参加者：24 名

J. 情報システム研究班

＜総括＞ 情報システム分野では例年、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基本的な使用方法などを実技講習会にて解説してきた。これらのソフトウェアは実際の業務だけではなく、その他にも論文作成や学会発表にも頻繁に利用されている。そういった学術活動を行うにあたって、最低限の統計学的な知識なくして一般を説得するための根拠を示すことはできない。しかし、今日の臨床検査教育においては、統計学が十分に教育されておらず、卒後の個人の自己学習に依存することが多いという現状があるので、少しでもそのような学習の機会が得られることは、今後の臨床検査技師にとって必要であることと考え、医療統計学の専門家を招いて6回シリーズでの講習会を開催した。

平均参加人数は約10人であったが、熱心な受講者が多く質疑も活発で、いずれの回も意義の深い講習会であり、なかなか他では聴くことのできない貴重な内容であった。また私立病院協会からの依頼を受け、私立病院協会開催のパソコン講習会に当班員の多くが講師として参加した。

1) 情報システム分野 第一回医療統計学講演会

日 時：平成19年10月20日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：疫学と医療統計学

疫学研究の古典的な事例と考え方について

講 師：佐藤 俊哉 教授(京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：15 人(会員14人)

2) 情報システム分野 第二回医療統計学講演会

日 時：平成 19 年 11 月 17 日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：信頼区間とサンプルサイズ設計

信頼区間の解釈と必要なサンプルサイズの決め方について

講 師：佐藤 俊哉 教授 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：16 人 (会員 16 人)

3) 情報システム分野 第三回医療統計学講演会

日 時：平成 19 年 12 月 15 日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：疫学研究のデザイン

代表的な疫学研究のデザインであるコホート研究と

ケース・コントロール研究について

講 師：佐藤 俊哉 教授 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：9 人 (会員 9 人)

4) 情報システム分野 第四回医療統計学講演会

日 時：平成 20 年 1 月 12 日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：管理図による検査データの精度管理

管理図の数理とその見方

講 師：大森 崇 准教授 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：10 人 (会員 10 人)

5) 情報システム分野 第五回医療統計学講演会

日 時：平成 20 年 2 月 16 日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：検査法の評価

講 師：大森 崇 准教授 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：8 人 (会員 8 人)

6) 情報システム分野 第六回医療統計学講演会

日 時：平成 20 年 3 月 8 日 土曜日 15:00～17:00

会 場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主 題：分散分析

講 師：大森 崇 准教授 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)

参加者：7 人 (会員 7 人)

7) 私立病院協会 パソコン講習会

日 時：平成 19 年 10 月 18 日 (PowerPoint)
平成 19 年 11 月 15 日 (PowerPoint)
平成 20 年 3 月 27 日 (Excel)
講 師：情報システム分野班員

K.北部学術研究班

＜総括＞『本年度の活動としては、事業部開催で行われた北部学術発表会の企画運営と一回の学術講演会の開催にとどまった。学術講演会は、形態学について一般分野と血液分野の 2 演題を企画した。来期は、本年度開催することが出来なかった「年間を通じた研修会開催」を基本活動とし、検査技術の研修・若手の育成はもちろんのこと、北部の病院で同じ臨床検査技師という立場で働いているものとして、会員同士での情報交換もしていきたいと思う。』

1) 【講演会】北部学術研究班形態学講演会

日 時：平成 20 年 2 月 23 日（土） 14:00～16:30
会 場：綾部市立病院
主 題：Ⅰ尿沈渣の見方と考え方、
Ⅱ各種検体に見られる悪性リンパ腫の細胞鑑別ポイント
講 師：西国広（株式会社 SRL）
座 長：白波瀬浩幸（京都大学医学部附属病院）
参加者：43 人（会員：35 人）

L. チーム医療

＜総括＞『糖尿病療養指導関連の講演会を 3 回行った。恒例の京都医療センターの糖尿病センターからの講師派遣でグループ討議も加えた講演会も 6 回目になり、参加者からはいつも好評を得ている。2 回は京都北部 CDE の会の研修会に共催した。』

1) 【講演会】京都北部 CDE の会講習会

日 時：平成 19 年 6 月 23 日（土） 14:00～18:00
会 場：舞鶴医療センター 地域医療研修センター
主 題 1：始めて糖尿病と言われた患者への介入 各職種からの関わり
講 師 1：小原伸之、高木洋子、山口朋子（京都医療センター）、
主 題 2：糖尿病に対する運動療法の実践
講 師 2：松井浩（ヒューマンモア（株））

2) 【講演会】第 6 回京都糖尿病療養指導士講習会

日 時：平成 19 年 12 月 1 日（土） 13:00～16:40
会 場：メルパルク京都
主 題 1：シックデイ指導のコツ
講 師 1：小林美保（京都医療センター看護部）
主 題 2：シックデイの病態

講 師 2：村田敬（京都医療センター内科）

主 題 3：仮想症例検討 シックデイどうすれば重症化を防げたか

参加者：21 人（会員：12 人）

3) 【講演会】京都北部CDEの会講習会

日 時：平成 20 年 1 月 26 日（火） 14：00～18：00

会 場：舞鶴医療センター 地域医療研修センター

主 題 1：地域での糖尿病対策と現状

講 師 1：肥後直子（京都府立医科大学附属病院 看護科）、

主 題 2：カーボカウントと支援

講 師 2：幣憲一郎、大倉瑞代、水野美華（京都大学医学部附属病院）

主 題 3：新たな糖尿病治療戦略

講 師 3：稲垣 暢也 先生（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・栄養内科学）

参加者：81 人（会員：4 人）